

科名 外科
 対象疾患 胃癌
 プロトコール名 オブジーボ+XELOX(胃癌)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	オブジーボ	360mg	30分かけて	↓				
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ					
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓				
			デキサート	9.9mg						
			ファモチジン	20mg						
			クロールトリメトン	10mg						
4	点滴注	側管	オキサリプラチン	130mg/m ²	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ルート毎変更					

内服 ゼローダ 1回1000mg/m²を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<オブジーボ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が

起こる恐れがあるので併用には注意すること。

<ゼローダ>

14日間内服7日間休薬

1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA) <1.36m²は1200mg/回(4Tab)

1.36m² ≤ BSA < 1.66m²は1500mg/回(5Tab)

1.66m² ≤ BSA < 1.96m²は1800mg/回(6Tab)

BSA ≥ 1.96m²は2100mg/回(7Tab)

<オキサリプラチン>

・必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)

・アレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

・デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。